

令和7年度 第78回全国高等学校バスケットボール選手権大会山梨県大会

【大会要項】

- 1 主 催 (一社)山梨県バスケットボール協会
 2 共 催 山梨県高等学校体育連盟
 3 主 管 (一社)山梨県バスケットボール協会・山梨県高等学校体育連盟バスケットボール専門部
 4 後 援 山梨県・山梨県教育委員会
 5 協 賛 (株)モルテン・(株)ミカサ・味の素株式会社
 6 期 日 令和7年10月25日(土)、26日(日)、11月1日(土)、2日(日)
 7 会 場 富士北麓公園体育館 [A・B 男](10/25, 26)
 鐘山総合体育館 [C・D 男](10/25)
 東京エレクトロン韮崎アリーナ [E・F 女](10/25, 26)
 富士北麓公園体育館 [M 男女](11/1, 2)
 ※ 開場時間は8時とする。ただし、11/1, 2は8時30分とする。

8 競技開始時刻

	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合
10/25(土) 26(日)	9 : 0 0	1 0 : 3 0	1 2 : 0 0	1 3 : 3 0	1 5 : 0 0	1 6 : 3 0
11/1(土)	女子準決勝①	女子準決勝②	男子準決勝①	男子準決勝②		
	9 : 3 0	1 1 : 2 0	1 3 : 1 0	1 5 : 0 0		
11/2(日)	女子決勝	男子決勝				
	9 : 3 0	1 1 : 2 0				

9 参加資格

- (1) 2025年度山梨県高等学校体育連盟に加盟し、(公財)日本バスケットボール協会に加盟・登録が完了した高等学校単一チーム及び登録された競技者であること。
 (2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
 (3) 平成18年(2006年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回に限る。
 (4) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 (5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
 ア. 部員不足に伴う合同チーム
 (全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と同専門部が定める「競技部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」に基づき、山梨県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)
 イ. 統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前の2年間に限る)
 (6) 転校(転籍)後6か月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、山梨県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りではない。
 (7) 参加資格の特例
 ① 上の9-(1)および(2)に定める生徒以外で、当該要項の大会資格を満たすと判断され、山梨県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 ② 上の9-(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- a. 学校教育法第72条、115条、124条および134条の学校に在籍し、山梨県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
 b. 以下の条件を具備すること。
 ア. 大会参加を認める条件
 a) 山梨県高等学校体育連盟の目的及び永年の活動を理解し、それを尊重すること。
 b) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。
 また、連携校の生徒による混成は認めない。
 c) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していず、運営が適切であること。
 イ. 大会参加に際し守るべき条件
 a) 山梨県高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 b) 大会参加に際しては責任ある教員が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 c) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
 (8) 参加制限【外国人留学生の出場枠について】
 ① 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
 ② 在籍校が、山梨県高等学校体育連盟に加盟していること。
 ③ 平成18年(2006年)4月2日以降に生まれた者とする。
 ④ 短期留学生は除く。
 ⑤ 人数は、エントリー(18名)の内2名を上限とし、コート内でプレーできる選手は1名とする。

- 1 0 引 率
- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、コーチ又はアシスタントコーチを兼ね、選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。ただし、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。なお、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は山梨県高体連会長に事前に届け出ること。
- (3) コーチ又はアシスタントコーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はJBA公認コーチ登録を完了し、傷害賠償責任保険(スポーツ安全保健等)に必ず加入することを条件とする。
- 1 1 チーム編成
- コーチ1名・アシスタントコーチ1名・学校関係者1名・マネージャー1名・選手18名、合計22名を上限とする。
- 1 2 競技規則
- (1) 「2025 バasketボール競技規則」による。
- (2) 参加チームによるトーナメント戦方式代表決定戦とし、3位決定戦は実施しない。
- (3) 大会使用球は、株式会社モルテン製 男子 B7C5000、女子 B6C5000 または株式会社ミカサ製 男子 CF7000、女子 CF6000 とする。ただし、準決勝および決勝では株式会社モルテン製 男子 B7G5000、女子 B6G5000 を使用する。
- 1 3 表 彰 男女とも3位までを表彰する。
- 1 4 表 彰 式 男女とも3位は11月1日(土)各準決勝後、準優勝・優勝は11月2日(日)男子決勝後に行う。
- 1 5 組合せ会議 令和7年9月11日(木) 15:00～ 青洲高校 青洲ホール
- 1 6 競技上の注意事項について
- (1) ベンチは組合せ番号の小さいチームをコートからテーブルオフィシャル席に向かって右側とする。
- (2) ユニフォームは原則として、組合せ番号の小さいチームが、白色を着用する。
- (3) 第1・第2クォーターに攻撃するゴールは、自チームのベンチ側とする。
- (4) 競技開始時刻は原則として定刻とする。ただし、前の試合が遅れたコートに最低でも10分間の練習時間を確保する。大会2日目は第5試合目の両コートの開始時刻を合わせる。
- (5) 自チームのメンバー表を、自チームの前の試合のハーフタイムにT0席と相手チームに提出する。
- (6) 棄権する場合は、大会開始の3日前までに専門委員長と相手チームに必ず連絡する。
※無断で棄権した場合は、相手チームの交通費全額を支払うこととする。
- 1 7 テーブルオフィシャル (以下T0)
- (1) T0は大会ごとにT0部が定めた計画に従って行う。
- (2) 原則としては次の通りを行う。
- ①各試合日について、各コートの最初の試合は、その試合から2試合あとの両チームが分担して行う。
- ②各コートの2試合目以降は、前の試合の負けチームがそのコートの次の試合のT0を行う。
- ③準決勝・決勝はT0部が依頼したチームが行う。

1 8 各会場の担当責任者

月日	会場名	記録・報道	競 技	会 場	T O
1 0 月 2 5 日	北麓 (AB)	藤巻和義 (甲府商業) 日高翔太 (北杜)	石寺隼人 (山梨)	長谷川道英 (上野原)	吉岡大地 (甲府東)
	鐘山 (CD)	小田切大 (韮崎工業) 植村友貴 (興譲館)	宮下敏治 (笛吹) 佐野勇太 (甲府西)	大沼翔太 (河口湖) 栞原寿 (興譲館)	渡辺凜太郎 (農林)
	韮崎 (EF)	小澤孝亮 (興譲館) 飯室剛史 (巨摩)	白倉一穂 (北杜) 横内裕三 (城西)	深沢博 (北杜) 萩原佳蓮 (城西)	安西拓海 (吉田) 小澤輝 (北稜)
1 0 月 2 6 日	北麓 (AB)	鮎沢峻 (青洲) 日高翔太 (北杜)	佐野勇太 (甲府西) 栞原寿 (興譲館)	山本大輝 (城西) 大沼翔太 (河口湖)	新井孝文 (明誠)
	韮崎 (EF)	小澤孝亮 (興譲館)	白倉一穂 (北杜) 横内裕三 (城西)	深沢博 (北杜) 古屋勝規 (甲府商業)	小澤輝 (北稜)
1 1 月 1 日	北麓 (M)	宮久保純子 (青洲)	白倉一穂 (北杜)	佐野勇太 (甲府西)	吉岡大地
1 1 月 2 日	北麓 (M)	齊藤拓巳 (北杜)	白倉一穂 (北杜)	横内裕三 (城西)	吉岡大地

連絡責任者 専門委員長 小澤 和真
勤務先 (青洲高校) 055-272-1161
携帯電話 090-4965-6667